

漁海況情報第2報 (2012年5月11日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

本県沿岸の表層水温は前月よりも顕著に昇温し、平年よりも高めとなっています。

宮城県沿岸の表面水温は12~14℃となっています。特に142° E以西の海域で顕著に昇温し、仙台湾では先月と比較して7℃程度高くなっています。平年と比較すると、142° E以西の海域では平年より1~2℃高め、142° E以东の海域では3~4℃高めとなっています。

100m深水温については、5~9℃台となっています。平年と比較すると141° 30' E~141° 40' E付近の海域では1~2℃低め、141° 50' E以东の海域では1~2℃高めとなっています[P1.水温水平分布図][P1.水温平年偏差図]。

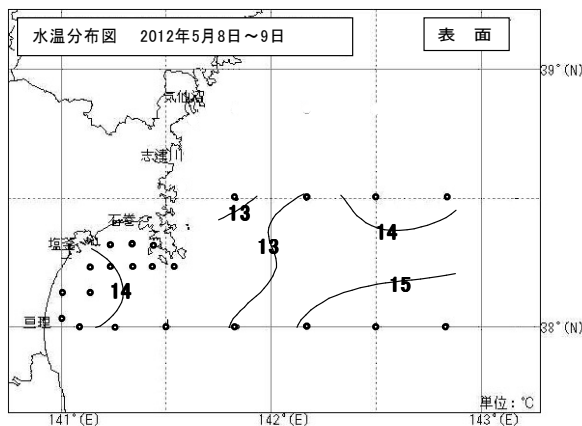
水温鉛直断面図をみると、親潮系冷水の波及がなくなり、水温分布が層状を成してきました[P2.水温鉛直断面図]。

漁業情報サービスセンター配信の東北海域漁海況情報からも三陸の沿岸と沖合は平年よりも高めとなっています[P2.東北海域の海況図：(社)漁業情報サービスセンター]。

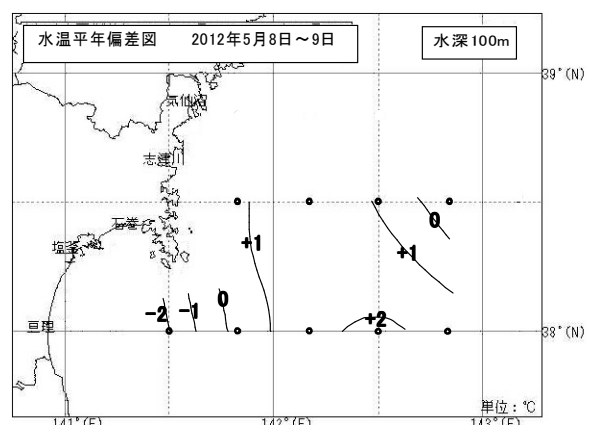
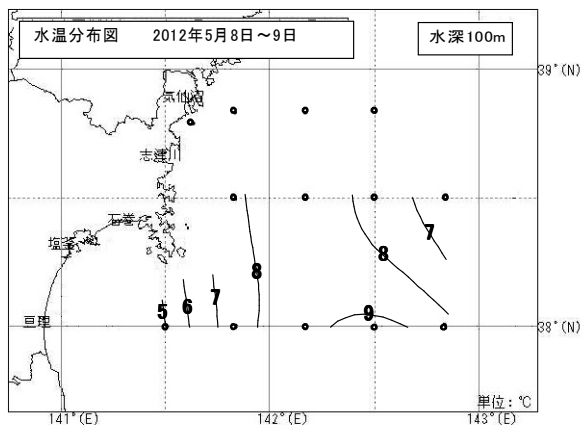
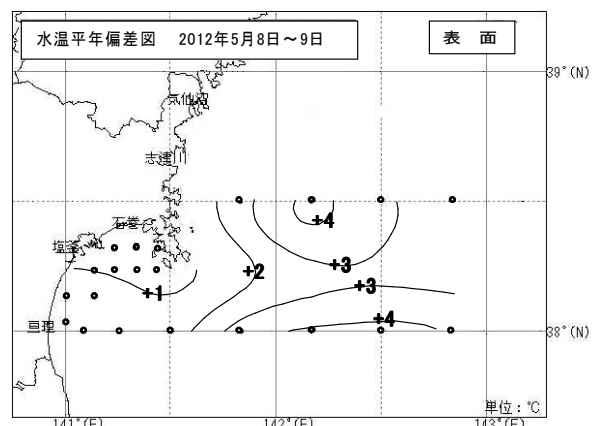
4月下旬の定地水温は、岩井崎と江島は平年並、佐須浜はやや高めとなっています。[P2.定地海洋観測結果]

底層水温については、3~6℃台となっており、仙台湾では6℃台となっています。[P3.底層水温図]

・水温水平分布図

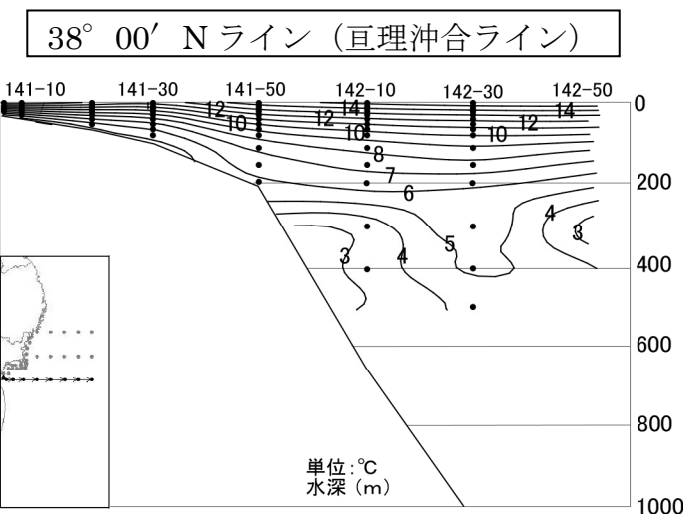
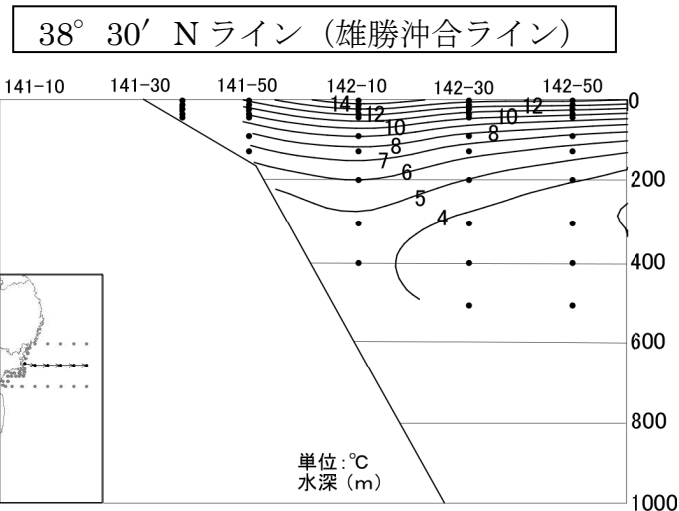


・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

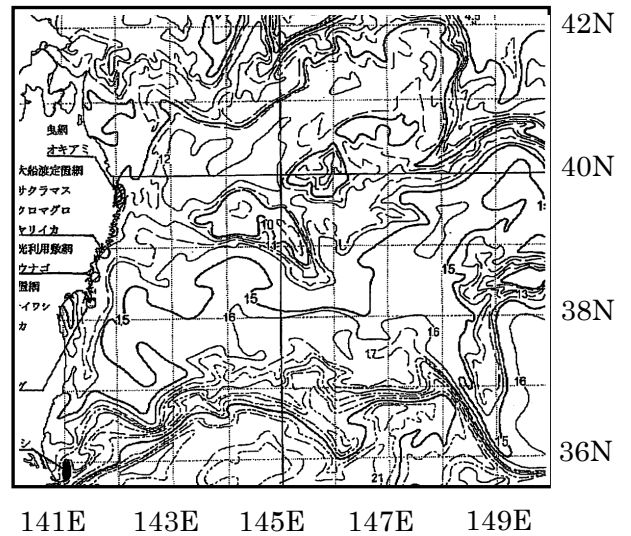


※ 観測は拓洋丸と翠皓（東北大学から借用）が実施しました。

・水温鉛直断面図



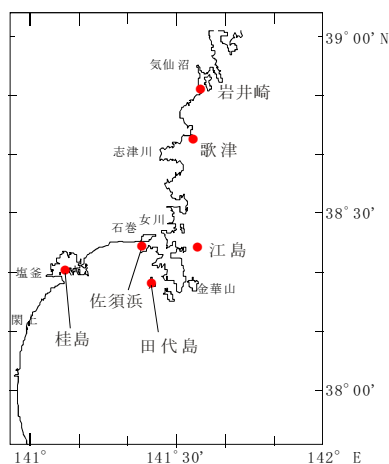
・2012年5月10日の東北海域の海況(表面水温)
(社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (社) 漁業情報サービスセンター

- ・黒潮続流は房総半島に接岸して東北東に進み、146° Eで南北へ分岐。
- ・鹿島灘～福島の沿岸は15～17°C台、仙台湾は12～15°C台。金華山以北の宮城県沿岸から岩手県南部沿岸は10～12°C台。
- ・三陸沖の渦は40° N・144° Eを中心に弱まりながらも継続、親潮第一分枝の張り出しは弱く、第2分枝先端(10°C)も40° N・148° Eまで北退。
- ・水温偏差図から沿岸部は平年よりも広範囲に高く、特に三陸沿岸と沖合は4°C高め。
- ・暖水の接近で最も昇温した仙台湾の定置網ではカタクチイワシ、マダイ、トラフグの漁獲が増加し、マイワシ、マサバ、スルメイカも出現している。

・定地海洋観測結果(°C)

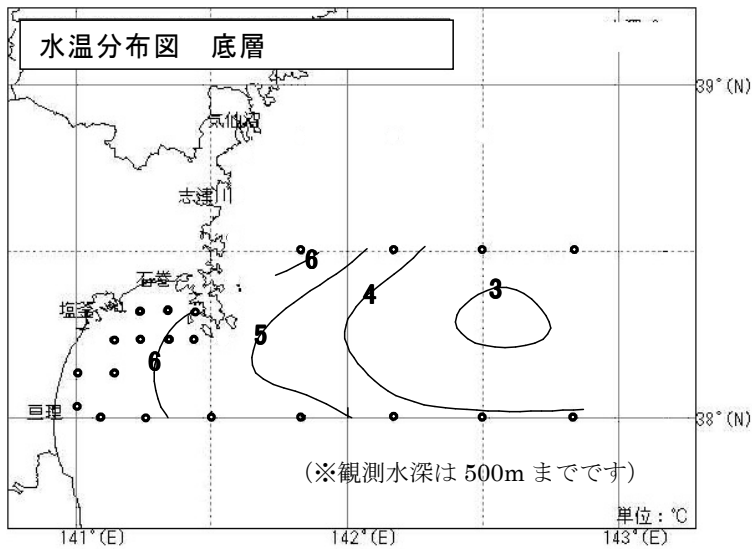


観測点	4月下旬	平年差	前年差
岩井崎	9.2	+0.3	欠測
江島	8.2	-0.5	-1.6
佐須浜	11.9	+0.9	欠測
桂島	13.2	-	-

※歌津と田代島は観測中断中です。
 ※平年差 岩井崎、江ノ島 (30年)
 佐須浜(10年)
 桂島(平成24年2月から観測開始)

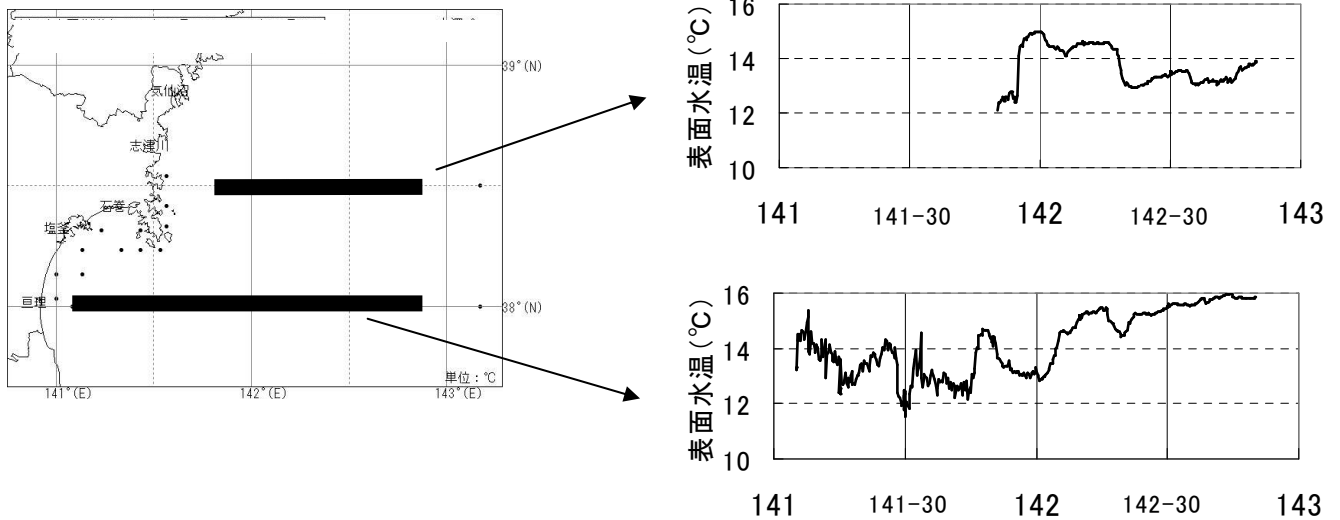
・ 底層水温図

・ 底層水温(2012年5月8日~9日)



2. 表層水温情報

拓洋丸に搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記のとおりです。



3. 調査船運航計画

拓 洋 丸	
5 月 14 日 ~ 17 日	鯨類餌環境調査

翠 皓(東北大学から借用)	
5 月 14 日	アナゴレプト調査
5 月 15 日	仙台湾定期底質調査